

「全員バレー」で近畿総体へ



赤穂高校の女子バレーボール部が兵庫県高校総体でベスト16に入り、7月20日から奈良県内で開催される近畿

総体の出場が決まった。チーム関係者によると、同部が近畿総体に出場するのは「おそらく初めて」とい

選手たちは「このチームで1試合でも多くプレーしたい」と意気込んでいる。最も身長の高い選手

でも172センチと小柄なチーム。県大会では相手のスパイクを繰り返して拾って味方のエースが得点を決める「つなぎのバレー」を展開。ベンチスタートの選手もサーブで相手守備を崩して起用に応えた。チーム一丸で勝ち星を重ね、新チームのスタート時に掲げた「近畿大会出場」の目標を叶えた。

「十人十色のメンバーが集まっている」と北波桃佳キャプテン(17)は3年ぶりに表現するチーム。試合の勝負どころで選手同士の意思疎通がうまくいかず、流れを相手に渡して敗れるケースが多かった。試合に負けた悔しさを練習にぶつける

でも次第に「チームとしてのまとまりが生まれた」という。部員全員の練習日誌に毎日赤ペンでアドバイスや励ましを書いた構芽久美監督(38)は「県総体で初めて守りと攻めがかみ合った。試合をするごとに強くなった」と選手たちの成長を喜んだ。

コロナ禍で県総体と同じく近畿総体も無観客で行われる。北波キャプテンは「家族や友達に見てもらえないのは残念だけど、全員バ

レーで最後まで頑張りたい」と健闘を誓った。(写真は近畿大会でも「全員バレー」を目指す赤穂高校女子バレーボール部)

レーで最後まで頑張りたい」と健闘を誓った。(写真は近畿大会でも「全員バレー」を目指す赤穂高校女子バレーボール部)

レーで最後まで頑張りたい」と健闘を誓った。(写真は近畿大会でも「全員バレー」を目指す赤穂高校女子バレーボール部)